

登録コード	MA007100	開講年度	2026				
授業科目名	看護管理学					担当教員	會田 信子
英文授業名	Nursing Administration					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	集中・不定期 集中・不定期	対象専攻 / 学年	看護学分野共通
講義室			授業形態	講義	授業科目区分	選択科目，（周麻酔期）選択科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS26カリ(医科学)・医科，MS25カリ(医科学)・医科，MS24カリ(医科学)・医科，MS23カリ(医科学)・医科						
	【研究科共通】医学、保健学および関連諸科学の研究に対する理解に基づいた高度な倫理性を持ち、科学的基盤に基づいて医療、医学研究もしくは教育を実践できる。				組織論に関連した一般的知識を理解し、倫理的態度に根差した組織変革の意義と必要性を説明できる。		
	MS26カリ(医科学)・医科，MS25カリ(医科学)・医科						
	【医科学】幅広い知識を基盤とし、最新情報を収集・分析することにより、社会のニーズに適応した行動をとることができる。				ヘルスケアサービス提供組織の課題を客観的・多面的にとらえ、より質の高いサービス提供のあり方を考究できる。		
(2)授業の概要	本講では、ヘルスケアサービスの厳しい制度的変化の現況において、看護職が看護管理の担い手として、どのように組織機能を最大限に発揮させていくかを検討するための基盤となる知識・方策、法律・制度等を理解するとともに、「ヒト・モノ・カネ・時間・情報・リスク」の管理のあり方に関する学生同士のディスカッションを通して、ミクロ・マクロの複眼的視点から考察し、看護管理活動の実践能力を涵養することを目的とする。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。 本授業，担当教員の保健医療福祉職（看護師）としての実務経験を活かして講義を行います。						
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	組織運営の基盤となる諸理論や知識、法律・制度、および自身の経験知などをもとに、ヘルスケアサービス提供組織の課題を客観的・多面的にとらえ、より質の高いサービス提供のあり方を考究できる。						
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	1）組織論に関連した一般的知識を理解し説明できる。 2）組織成立の要件を理解し、倫理的態度に根差した組織変革の意義と必要性を説明できる。 3）看護サービスの質保証の評価視点と組織システムのあり方を考察できる。 4）組織運営における人材育成の位置づけ・重要性を理解し、キャリアマネジメントのあり方を考察できる。 5）ヘルスケアサービスの提供組織や行政組織の特徴を理解し、連携の必要性を説明できる。 6）自身が経験した所属組織の課題を分析し、組織機能を発揮するための方略を考案できる。						
(5)授業計画	第01回 オリエンテーション【會田】 第02回 看護サービス管理とは何か＜プレゼンテーション1＞【會田】 第03回 看護サービス管理の基礎＜プレゼンテーション2＞【會田】 第04回 看護サービス管理の要素とプロセス＜プレゼンテーション3＞【會田】 第05回 日本の医療と介護サービス提供システム【會田】 第06回 看護行政の仕組みと看護政策＜プレゼンテーション4＞【會田】 第07回 看護サービスの質保証＜プレゼンテーション5＞【會田】 第08回 看護サービス管理におけるリスクマネジメント＜プレゼンテーション6＞【會田】 第09回 看護と情報管理のシステム＜プレゼンテーション7＞【會田】 第10回 看護キャリア開発【＜プレゼンテーション8＞會田】 第11回 看護倫理と看護サービス管理【會田】 第12回 看護サービス管理における教育と研究【會田】 第13回 マネジメントリフレクション ＜プレゼンテーション9＞【會田】 第14回 マネジメントリフレクション ＜プレゼンテーション10＞【會田】 第15回 マネジメントリフレクション ＜プレゼンテーション11＞ 授業アンケートの実施【會田】 開講日時は受講学生と検討のうえ決定します。						
(6)授業の進め方	学生によるプレゼンテーションとディスカッションで進めます。 プレゼンターの学生が、担当箇所の概要や重要箇所、疑問点などをプレゼンした後、非プレゼンターの学生および教員と検討事項をディスカッションします。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【履修上の注意】 授業の進め方の特性上（プレゼンテーションとディスカッション）、履修者が1名の場合、履修年度の検討等をお願いする場合があります。 本件については、個別に相談させていただきます。 【事前学習】 プレゼンターの学生は、担当範囲に関するプレゼン内容をまとめ、配付資料を作成して臨んで下さい。 非プレゼンターの学生は、該当箇所を熟読したり、必要箇所を調べたりして、不明点を明確にして臨んで下さい。 【事後学習】 その日に学んだ内容を、自分の言葉で分かりやすく説明し、実例を提示できるよう学びを深めて下さい。						
(8)成績評価の方法	成績評価は、1)プレゼンテーションの内容と発表態度70点、2)ディスカッションへの参加度30点を合計したものを最終評価とします。						
(9)成績評価の基準	成績評価の方法の合計点にもとづき、判定基準は、90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69点(可)、60点未満(不可)とします。						

(9)成績評価の基準	1) プレゼンテーションの内容と発表態度は、下記の5項目で評価します【計70点】。 内容の適切性(15点)：指定課題の内容にそって、十分な情報収集や分析のもと、適切に内容がまとめられている 構成の適切性(15点)：順序たてて論理的に構成されており、知識と自分の考え・疑問等とを区別できている 資料の適切性(15点)：わかりやすく、見やすい表現で、図表・絵・写真などを効果的に使用している 発表姿勢の適切性(15点)：視線や声量、話すスピードが適切・明確で、一貫性のある誠実な態度で発表している 質問への対応(10点)：質問に適確・簡潔に答え、自身の不明点を明確に伝えることができている 2) ディスカッションへの参加度は、下記の3項目で評価します【計30点】。 論理性(10点)：ポイントをおさえた論理的な意見を、結論・理由(根拠)・具体例を区別して述べている 主体性・積極性(10点)：ディスカッションの活性化のために、建設的・真剣な態度で参加できている 協働性(10点)：他者の意見等をよく聴いて、感情的にならずに、アサーティブな態度で参加できている
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	メールでの質問・相談は随時受け付けます。 訪室する時は、事前にメールで日時調整をして下さい。 會田信子：aida@shinshu-u.ac.jp
【テキスト，教材，参考書】	【テキスト】 小池智子ほか：看護サービス管理,最新版,医学書院. 【参考書】 1) 井部俊子(監修),勝原裕美子(編集)：組織管理論,最新版,日本看護協会出版会. 2) 角田由佳：看護サービスの経済・政策論 - 看護師の働き方を経済学から読み解く,最新版,医学書院. 3) 上泉和子ほか：看護管理,最新版,医学書院. 4) 井部俊子ほか：ナイチンゲールのマネジメント考 組織管理者としての責任,最新版,看護協会出版会. 5) 石井遼介：心理的安全性のつくりかた,最新版,日本能率協会マネジメントセンター. 6) 篠原信：自分の頭で考えて動く部下の育て方 上司1年生の教科書,最新版,文響社. 7) P.F. ドラッカー(著),上田惇生(訳)：マネジメント 基本と原則,最新版,ダイヤモンド社. 8) アンドリュー・S・グローブほか(著),小林薫(訳)：HIGH OUTPUT MANAGEMENT(ハイアウトプット マネジメント) 人を育て、成果を最大にするマネジメント,最新版,日経 B P.